商店建築

10
2018

SHOTENKENCHIKU MONTHLY MAGAZINE OF STORE DESIGN/INTERIOR/ARCHITECTURE 2018 Vol.63 No.10

Special Feature

緊急特集
杉本貴志の商空間デザイン 後編

シーンをつくる音響デザイン

Feature Article

現代の多様な働き方を支える
「オフィス・サポート・ラウンジ」

Feature Article

OFFICE

オフィス大特集

OFFICE

オフィス大特集

METLIFE INSURANCE Headquarter Office Tokyo Garden Terrace / GARDE + Nikken Sekkei
METLIFE INSURANCE Headquarter Office Olinas Tower, Tokyo / GARDE + Nikken Sekkei
LINE OFFICE, Tokyo / SUPPOSE DESIGN OFFICE + LINE
TABILABO, Tokyo / Puddle
C CHANNEL, Tokyo / George Creative Company
ORANGE AND PARTNERS, Tokyo / George Creative Company
BBTOWER 5G WORKPLACE TRANSIT TUNNEL, Tokyo / KOKUYO
KOKUYO SHINAGAWA SST OFFICE, Tokyo / KOKUYO
DIVERARY, Tokyo / KOKUYO
CHOCOLATE, Tokyo / DAIKEI MILLS
GARAGE DENTSU ISOBAR, Tokyo / TORAFU ARCHITECTS
ADASTRIA, Tokyo / DRAFT
DIAMOND REALTY MANAGEMENT, Tokyo / Ryo Matsui Architects
TOY'S FACTORY, Tokyo / Schemata Architects
LAVA INTERNATIONAL, Tokyo / parkERs
KANDA EAST, Tokyo / plastac
KINTO, Shiga / INTENTIONALLIES

〈OFFICE SUPPORT LOUNGE〉
PARK6, Tokyo / A.N.D.
PARK LOUNGE, Tokyo / A.N.D.
SHINJUKU PARK TOWER LOUNGE ,Tokyo /
LIVING DESIGN CENTER OZONE + Erika Nakagawa Office
NEON, Tokyo / KOKUYO

日本文化を取り入れたグローバル企業のオフィス

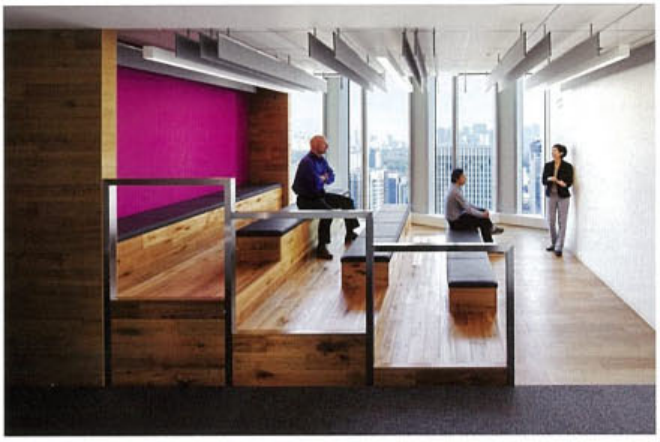
メットライフ生命保険 本社
東京ガーデンテラス紀尾井町

MetLife Insurance Headquarter Office Tokyo Garden Terrace
Designer GARDE

設計／ギャルド
協力／電気・配管エンジニアリング　明野設備研究所
照明・オーディオ・ビジュアル　ワークテクト　IT　システムズ ゴー
LEED（建築物環境性能総合評価システム）　ERM日本　グラフィック　フランクリン
フードサービス　井之上事務所　プロジェクトマネジメント　CBRE
施工／鹿島建設　丹青社
撮影／ナカサ&パートナーズ

左／複合商業施設「東京ガーデンテラス紀尾井町」の25～27階にオフィスを構えるメットライフ生命保険。27階にあるエントランスからラウンジ「ザ・スクエア」を見る。「モダン」と「グリーン」をテーマにデザインした空間で、26階へとつながる左手の階段は新設した
右上／26階ラウンジ。奥にはコーヒーバーが見える。ラウンジの一角はカラーガラスで区切られた半個室のミーティングスペース　右中／27階エントランスを見る。都内に構えるもう一つのオフィス「メットライフ生命保険 本社 オリナスタワー」（P.60）と共通のデザインとすることで、両者に差を生まれないよう配慮した
右下／27階役員エリアのレセプション

27階の銀杏をモチーフにした共用ワークスペース「ザ・クラブ」を見る。「ザ・クラブ」は、各階のメイン動線上に設けられ、社員同士や社外パートナーとの打ち合わせ、個人作業などに対応。キッチンに面したハイカウンターやソファ席、カラーガラスで間仕切られた席など、多様な種類を設けている



上左／昼食休憩や社内レクチャーに対応する、シアターステップ「ザ・ネイバーフッド」。右手の壁面はホワイトボード　上右／25階の「ザ・クラブ」。自然光が差す窓際のスペースを中心に共用スペースを配置。環境が良い場所を、より多くの人が共有できることを重視した　下左／25階に設置された特注の円形ソファ。社内レクチャーなどの際には、外周をハイテーブルとして使用する　下右／カンファレンス時の給仕や休憩に対応する27階のサーバリースペース。フロアの四隅は全て共用ブースとしている

25階の「ザ・クラブ」。家庭内でのコミュニケーションの場であった囲炉裏をモチーフとし、コミュニケーションの活発化を図っている

多様な空間でコミュニケーションを引き出す二つの拠点

メットライフ生命は、7カ所に分かれたオフィスを2カ所に統合することで、企業文化を一つにし、グローバル企業としての存在を示す「MetLife Vision 2020」戦略に乗り出した。東京ガーデンテラス紀尾井町とオリナスタワー(P.60)は、地下鉄1本でつながり、30分で行き来が可能。どちらのオフィスも、"Bringing Our People Together"をプロジェクトコンセプトとして、三つのエリア「The Square」、「The Club」、「The Neighborhood」で表現し、それぞれ多種多様な空間を演出した。

個人デスクの他に、集中して資料作成などを行うボックスや、書き込みが可能な壁で囲まれ、アイデアを出し合うオープンなミーティングスペース、高度なAVテクノロジーや翻訳ブースを完備した会議室など、仕事のスタイルに合わせて空間を選択できる。また、社員同士やクライアントとのコミュニケーションを大事にし、カフェやラウンジを多く設けた。その中には、最上階に位置し、東京スカイツリーや富士山を一望できるカフェや日本の伝統的な茶会をイメージした落ち着いた茶室スタイルのパントリースペース、日替わりで外部からお弁当が提供される弁当エリアがあり、日本の文化に導かれ、人に寄り沿った空間づくりを目指した。

「そこで働く人」のことを第一に考えたメットライフのオフィスは、資材、照明、全社員への自然光の確保、エネルギー効率の高さ、良質な空調などに留意したサスティナブルなデザインの証として、米国のGreen Building Councilが設定しているLEED(建築物環境性能総合評価システム)のゴールド認証を取得している。

〈Christopher C. Brooks/ギャルド〉

「メットライフ生命保険 本社 東京ガーデンテラス」data

所在地:東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町紀尾井タワー25〜27階
工事種別:内装のみ　新築
床面積:1万277㎡/25階3443㎡　26階3441㎡　27階3393㎡
工期:2016年7月1日〜2017年3月31日
施工協力:空調・電気・給排水衛生設備/明野設備研究所　厨房機器/井之上事務所　照明器具・音響設備/ワークテクト　家具/オカムラ、ハーマンミラー他　什器/丹青社　サイン(グラフィック)/フランクリン

営業内容

竣工:2017年5月1日
電話:(03)6658-2000
経営者:メットライフ生命保険㈱　サシン・N・シャー
従業員数:900人

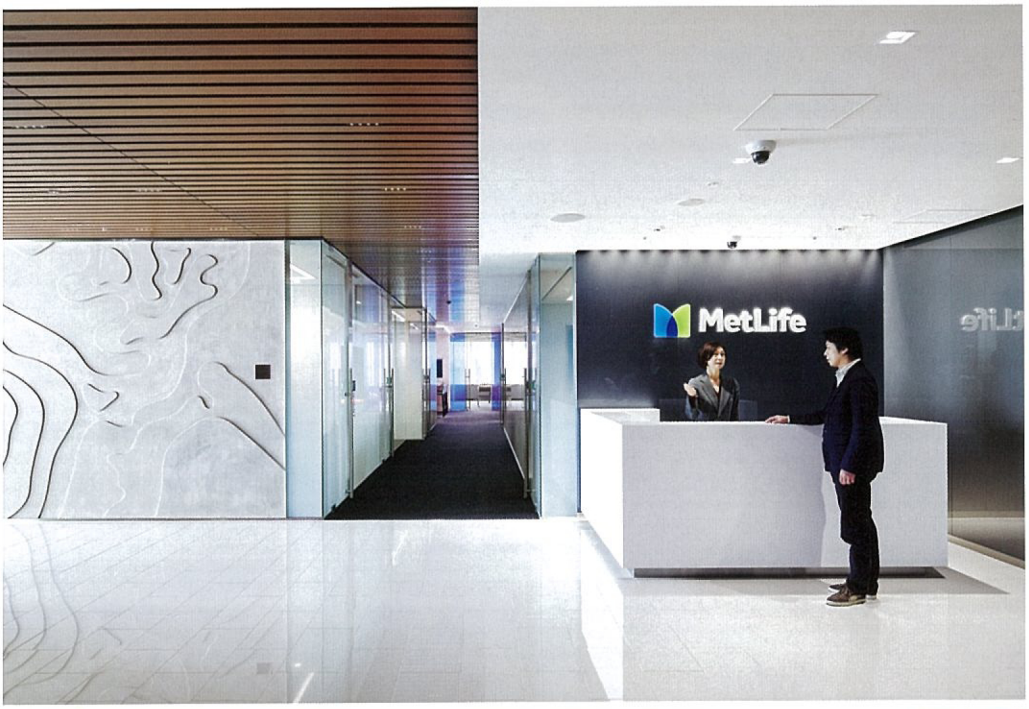
主な仕上げ材料

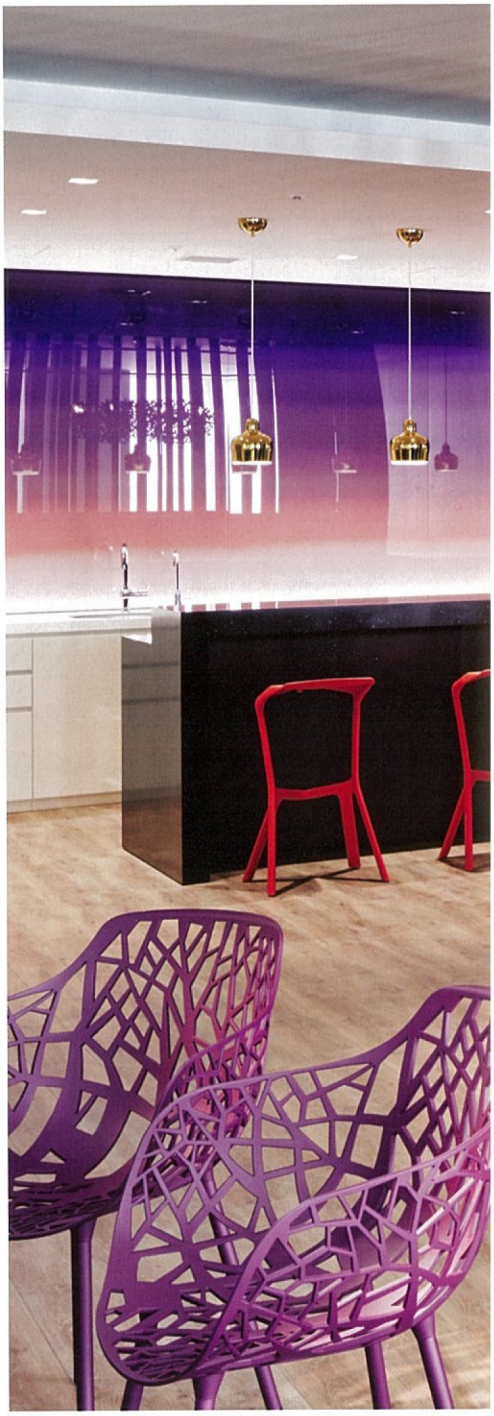
床:OAフロア下地カーペット敷き　ビニルタイル貼り　セラミックタイル貼り
幅木:ビニルタイル貼り　木材貼り　SUS貼り
壁:PB下地ラッカー塗装　ラッカーペイント仕上げ　木材貼り　石材貼り　銅スクリーン貼り　ガラスパネル貼り　タイル貼り
天井:防音タイル下地PB貼り　ファブリックパネル貼り　防音タイル貼り
家具:ワークデスク/オカムラ　タスクチェア/ハーマンミラー　ラウンジチェア(相合家具製作所、マジス)　カンファレンスルーム/ワークチェア(ヴィトラ　キールハワー)　ラウンジ、コラボレーションエリア家具全般(ウォルター・ノル、シックスインチ、レストレーションハードウェア、タイム アンド スタイル、ボーコンセプト)
什器:木材貼り　石材貼り　プラスチック積層板貼り　人工大理石貼り　ガラスパネル
照明器具:ペンダントライト(ヤマギワ、コイズミ照明、エルックス、オーデリック、トム・ディクソン、大光電機、モーイ、フォスカリーニ、ファビアン、ディーゼル)

扇子がモチーフの「ザ・クラブ」。社員が好きな場所で作業できるよう、ボックス席やテーブル席など、さまざまな席を設けている

「ザ・クラブ」の、神が宿る山とされる富山・立山をモチーフにしたスペース。壁面グラフィックはニューヨークのデザイン会社フランクリンが手掛けた

上／パソコン修理などに対応する26階の「テックライフ」カウンター　下／テックライフに隣接して設けられた「ゲームルーム」。リフレッシュや休憩に使われる





モダンに表現した日本文化が
さまざまなワークスタイルに対応する

メットライフ生命保険 本社 オリナスタワー

MetLife Insurance Headquarter Office Olinas Tower, Tokyo
Designer GARDE

設計／ギャルド
協力／電気・配管エンジニアリング　明野設備研究所
照明・オーディオ・ビジュアル　ワークテクト　IT　システムズ ゴー
LEED（建築物環境性能総合評価システム）　ERM日本　グラフィック　フランクリン
フードサービス　井之上事務所　プロジェクトマネジメント　CBRE
施工／東京不動産
撮影／ナカサ＆パートナーズ

左上／錦糸町のランドマークビル「オリナスタワー」24階のエントランス越しに会議室方向を見る。エントランスは「メットライフ生命保険 本社 東京ガーデンテラス」（P.54）と共通する「モダン」や「グリーン」をテーマにデザインした　左下／エントランス脇に設けられた待合スペース。壁面アートは、真上から見た富士山をモチーフに制作したもの　右上／21階の共用スペース「ザ・クラブ」を見る。ミーティングや休憩など、さまざまなシーンに対応するスペース。一角にはコーヒーステーションを設えた　右下／30階レセプションから会議室を見る。パーティションは京町家の格子から着想した

上左／22階の「ザ・クラブ」にはガラスで仕切られた個室やビッグテーブルなどさまざまな席が用意された　上右／27階の共用スペースは「夏」をモチーフにしている。天井のファブリック製造作は雲をイメージしたもの　下左／カンファレンス時の給仕や休憩に対応する30階のサーバリースペース　下右／20階に置かれた特注ソファ

左／29階の「ザ・クラブ」。「野点」をテーマに、春を思わせる色味のガラスで仕切られた個室や、自然の美をモチーフにしたボックス席を設けた　右上／26階には「節分」をモチーフとした共用スペースを配置。右手の個室の壁には、枡から着想した造作が取り付けられ、左手壁面は豆と鬼が描かれている　右中／鶴の絵が描かれた23階の「ザ・クラブ」。それぞれのスペースは、異なるコンセプトで和を表現している　右下／24階の執務室に隣接した「ザ・クラブ」と個室

柏餅をモチーフにした29階の共用スペース

25階に置かれた大型ソファは、外周にも座面が取り付けられている。吊り照明は「ヘラクレウムスモールビッグオー」（16年3月号P.215掲載）

上左／29階ミーティングルームを見る。個室の外周にもシートが取り付けられている。壁面はカシワの葉がモチーフのアートワーク　上右／22階「ザ・クラブ」。さまざまなシーンに対応する多様な席を設けている　下左／21階の「ザ・クラブ」。「日本文化」を採り入れたいというクライアントからの要望により、季節ごとの行事や文化をデザインに取り込んだ　下右／26階の「ザ・クラブ」。初夏に咲く花菖蒲がモチーフ

上／ビル最上階（30階）にあるカフェラウンジ「ザ・スクエア」。天井造作は「黄金の国ジパング」をモチーフとしたもの。金属を用いることでモダンに仕上げている　下左／30階のラウンジ。東京スカイツリーに近く、隅田川花火大会も見ることができる　下右／廊下にもベンチが設けられた

「メットライフ生命保険 本社 オリナスタワー」data

所在地：東京都墨田区太平4丁目1-3 オリナスタワー18～30階
工事種別：内装のみ　部分改装
床面積：2万2527㎡／18階1758㎡　19階679㎡　20階1758㎡　21～29階各1859㎡　30階1602㎡
工期：2016年10月3日～2017年10月30日
施工協力：空調・電気・給排水衛生設備／明野設備研究所　厨房機器／井之上事務所　照明器具・音響設備／ワークテクト　家具／オカムラ、ハーマンミラー他　什器／丹青社　サイン（グラフィック）／フランクリン

営業内容

竣工：2017年11月1日
電話：（03）6658-2000
経営者：メットライフ生命保険㈱　サシン・N・シャー
従業員数：2350人

主な仕上げ材料

床：OAフロア下地カーペット敷き　ビニルタイル貼り　セラミックタイル貼り
幅木：ビニルタイル貼り　木材貼り　SUS貼り
壁：PB下地ラッカー塗装　ラッカーペイント仕上げ　木材貼り　石材貼り　銅スクリーン貼り　ガラスパネル張り　タイル貼り
天井：防音タイル下地PB貼り　ファブリックパネル貼り　防音タイル貼り
家具：ワークデスク／オカムラ　タスクチェア／ハーマンミラー　ラウンジチェア（相合家具製作所、マジス）　カンファレンスルーム／ワークチェア（ヴィトラ　キールハワー）　ラウンジ、コラボレーションエリア家具全般（ウォルター・ノル、シックスインチ、レストレーションハードウェア、タイム アンド スタイル、ボーコンセプト）
什器：木材貼り　石材貼り　プラスチック積層板貼り　人工大理石貼り　ガラスパネル
照明器具：ペンダントライト（ヤマギワ、コイズミ照明、エルックス、オーデリック、トム・ディクソン、大光電機、モーイ、フォスカリーニ、ファビアン、ディーゼル）

〈コンセプトイメージ〉

「ザ・クラブ」はそれぞれ日本文化をモチーフとしている（資料提供／ギャルド）

note.

ソフトを変えるハードの力

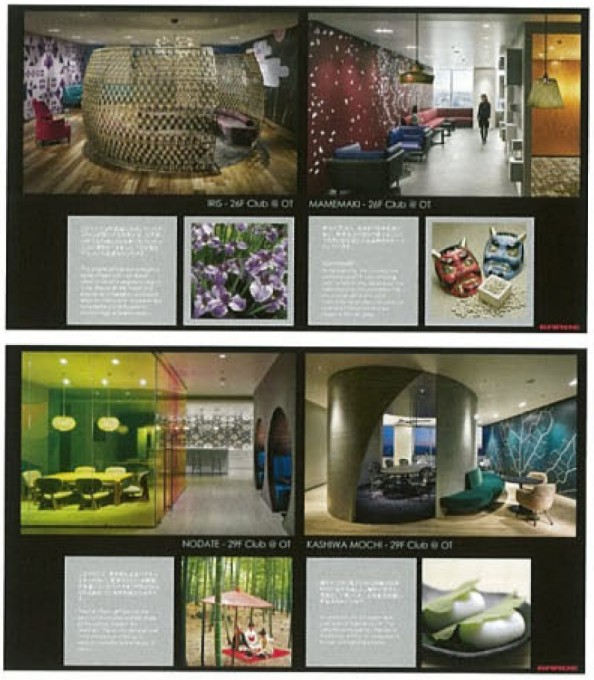
メットライフ生命保険
リアルエステート&ファシリティグループ長
丹野賢一

日本での営業開始から45年となる節目の年に実施したオフィス統合計画でした。米国企業の現地法人であるため、日本の文化に敬意を払いながら、今後も日本に根差していくという姿勢を示すプロジェクトでもありました。

デザイン面で重要だと考えたのは、まず、本国のデザインコンセプトを導入しつつ、日本の法規などに適応させること。もう一つが、日本文化の要素を表現することです。デザインとコーディネーションの二つの能力が求められ、ギャルドに設計を依頼することとなりました。

この計画の特徴でもある「ザ・スクエア」、「ザ・クラブ」、「ザ・ネイバーフッド」という三つのスペースは、「人と出会う空間」として設けられました。メットライフ生命は、そこで働く人々を最大の資産と考えています。チームで

〈コンセプトイメージ〉



の共同作業や社外パートナーとの打ち合わせ、個人作業、休憩まで多目的に使用できる、新しい形のワークスペースは、仕事のスタイルやタスクに応じた選択を可能にします。

引っ越しから1年以上が経過し、新しいスペースを使っていくうちに、働き方もスピーディーかつ多様に変化してきた実感があります。エレベーターから自席までの間に、必ず共用スペースを通るという動線デザインも効果的でした。最近行った外部コンサルタントによる会議室等の利用率調査でも、多くのエリアで使用率は「適正」と判定されています。

このオフィスができたことで、私達の働き方はよりコラボレーティブになり、イノベーションが生まれやすくなったと思います。また、将来的に働き方が変化しても柔軟に対応できるよう、さまざまな施設や場所を設けました。従来型のオフィスから脱却し、未来に向け「働き方を変える」こと。ソフトを変えるためにもハードの力は重要で、会社の考え方が表れたデザインになったと思います。　〈談／文責編集部〉